

■損保ジャパンと包括連携協定を締結

市は1月14日、損害保険ジャパン株式会社長野支店との「安曇野市の地域防災力向上等に関する包括的連携協定」の締結式を市役所で行いました。

災セミナーなどを通じて、防災意識の啓発や防災知識の普及にご協力をいただきます。宮澤市長は「災害時の状況の把握に加え、市民一人ひとりの防災意識を高めることで、地域防災力の向上に大いに期待できます」とあいさつしました。



地域防災力向上等に関する包括連携協定を締結

■安曇野シルバー人材センターと空家等の管理に関する協定を締結

市は2月5日、(公社)安曇野シルバー人材センターと「空家等の適正な管理の推進に関する協定」の締結式を市役所で行いました。

この協定により、所有者等から相談を受けた際に、空家の点検や除草作業等の管理業務を同センターと連携・協力して取り

組む体制が構築されました。

市内には令和2年度末時点で1000件を超える空家が確認されており、草木の繁茂や庭木の越境を主な要因として、苦情も寄せられています。

市では所有者に対し、適正管理を促しているところですが、空家の発生原因はさまざま

所有者自らが管理できない状態に陥っている状況もあります。

これまで、除草や見回り活動等の実績のある同センターと連携することにより、管理不全状態の空家発生を抑制し、良好な生活環境の保全に努めていきます。



空家等の適正な管理の推進に関する協定書に署名

小中学校へのエアコン設置工事が完了

令和元年度から整備に取り組んできました、市内小中学校の普通教室等へのエアコン設置工事が1月に完了しました。

事業費は、小学校213教室への設置工事が約7億2736万円、中学校135教室への設置工事が約5億7830万円で、小中学校の合計事業費は約13億

566万円です。

中学校では昨夏、リースの冷風機をすべての普通教室に設置し、熱中症対策を行いました。このほどエアコンの設置工事が完了したことにより、熱中症予防の環境が整いました。

市ではエアコンを適切に使用するために、令和2年5月に「安

曇野市小・中学校空調設備運用指針」を策定しています。今後は、この指針に沿って、各校が省エネルギーに取り組みながらエアコンを使用していきます。

寄附寄贈のお礼(敬称略)

- ▷(株)みらいさい福祉会 10万円 社会福祉のため
- ▷(一社)長野県労働基準協会連合会 40万円 地域の産業の発展・地域づくりのため▷安曇野市豊科地域体育協議会 20万円 新総合体育館建設のため▷NTPトヨタ信州(株) 小型貨物自動車トヨタプロボックス 1台▷(公社)安曇野シルバー人材センター 門松 1対▷(株)プロテクトeight 南穂高認定こども園施設への除菌対策(除菌効果のあるコーティング剤の塗布<薬剤・作業込>)▷(株)デンソーエアークル デンソー製スポットクーラー MOVIN COOL 2台

安曇野オリジナル商品開発プロジェクト

商品試作案 採用なるか?

安曇野オリジナル商品開発プロジェクトの研究成果発表会が1月30日、堀金総合体育館で開かれました。このプロジェクトは本年6月にスタート。安曇野の農産物や特産品を使った商品を開発するため、南安曇農業高校のグリーンサイエンス科と市が連携して取り組みました。生徒たちは全16回の授業で試作品の開発を重ね、今回の発表会に備えてきました。当日は3年生15人が自ら試作した「安曇野産スイートコーンを使用したアイス」などのスイーツや「信州のリンゴを使った中濃ソース」などの調味料の研究を発表。今後は、市内直売所が商品として採用するか検討します。

将来は調理師を目指す大須賀美衣紗さん。有明カボチャを使用したようかんを試作しました。「カボチャの優しい甘みと『野菜感』のバランスが難しかった」と話します。



生徒間でも積極的な質疑応答が行われ、安曇野の農産物の特長などを探りました。



市への寄附に感謝状を贈呈

1/19 寄附受納・感謝状贈呈式

電子部品の製造・販売を行う本多通信工業株式会社から、市の産業振興のため金員の寄附をいただき、市表彰規則に基づき感謝状の贈呈を行いました。

同社には、平成26年度から毎年寄附をいただいています。

